

ゴール7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに

令和3年度
大阪府SDGsビジネス創出支援事業
SDGsビジネスマップ

環境の配慮した消防設備業の推進



企業名	アーグリード株式会社		
所在地	大阪府大阪市	資本金	3950万
設立	平成16年1月	従業員数	25人
企業URL	http://www.izubo-zu.co.jp/index.php		
事業内容	消防設備用各種報告書のソフトウェア開発、販売、消防設備点検業務 他		

SDGsビジネスを始めたきっかけ

平成23年から環境に配慮した消防設備点検が出来ないか検討した中、消防設備の自動火災報知機等で煙感知器の作動試験の試験器のスプレーが代替フロンであるHFC-134aだと知り、製造企業にその使用を減らすべき出来ないかと問いかけるも代替がないと言われたため、他の方法を模索し、ノンフロンの加煙試験器を開発する事を始めたのがきっかけ。

SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

①新型加熱試験器の開発・販売

- 同社では、加熱試験でグリーン購入法に採択を目指して、消防設備点検に用いる**新型の加熱試験器の開発販売**を目指している。
- 従来の試験器は触媒にベンジン（白ガソリン）を用いるため、CO2を排出するとともに、火災事故の危険性があった。一方、同社の**新型試験器「楽熱」（仮名）**はベンジン不使用により、環境に配慮した安全な製品である。

②消防への電子届出を促進する届出書作成ソフトの開発・販売

- 届出のデジタル化を進めることで、消防設備業界の慢性的人材不足の解決と業務改善を図る。

SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- 点検作業で使用する試験器の開発や届出作業におけるデジタル化を推進することで、大幅な温室ガスの削減につながる可能性がある。
- 消防設備業界の業務改善が図られる。

OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

今回のマッチングでは成果が上がらなかったけれど、事業は継続的に進展しており、今後に期待したい。

未活用農産物の原料化プラットフォーム



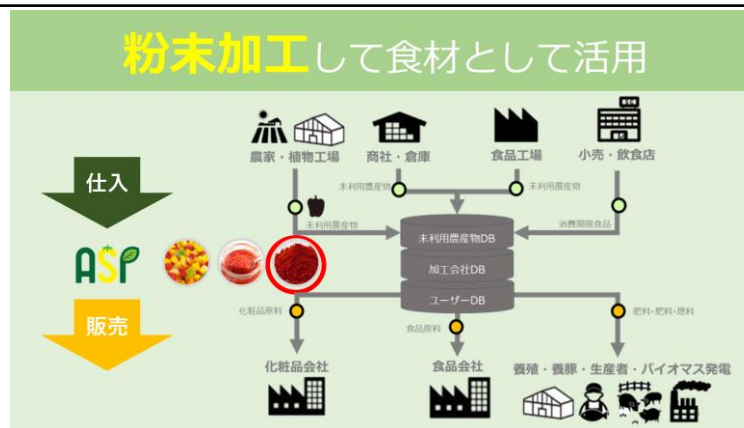
企業名	株式会社エーエスピー		
所在地	吹田市	資本金	4,000千円
設立	2018年2月26日	従業員数	3名
企業URL	https://www.agrisp.jp/		
事業内容	農産物安定供給、未利用農産物原料化、出荷調整・鮮度保持、グリーンヘルスケア		

SDGsビジネスを始めたきっかけ

フードロスに加え、食べるには問題ないもののサイズや傷など外観上の理由により廃棄されている。このような『未活用農産物』も外観の問題がなくなるよう加工して食品原料化し、付加価値を高め、食品として活用することで生産者の収益向上と環境負荷低減をしながら食料自給率をアップさせようと考えた。

SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 農家や植物工場、商社、加工会社等から未利用食材を仕入れ、粉末加工として販売を行う。
- 未活用農産物を有効活用し、フードロス削減を実現する仕組みづくりを行う。



SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

日本には京都のおばんざいのように無駄なく使い切る食文化が根付いています。これを継承しながら、「見映えと機能性」を生かした新しい食材を普及し、食料自給率を上げるだけでなく、日本を代表するSDG s フードとして大阪万博にて世界へ発信していきます。

粉末食材として新しい食文化を定着することで食料自給率のアップと環境負荷の低減に貢献します。また長期保管できる食材として豊作時などで廃棄されていたものも備蓄食として安定供給され、フードロスや規格外品という言葉が無い社会を作ります。

OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

補助金事業を通じて、今回取り組んだ6市町村以外の地域からの相談も増え、来年度は倍の地域での取り組みに発展していきます。また今回試作した原料から採用したい企業が複数出たことBtoBtoCの座組で具体的な商品企画が複数生まれました。今後はミールキットや料理人と連携したワークショップや料理教室による「粉」食材の認知度向上を進めながら、大阪万博に向けて日本発のSDG s フードとしてのコンテンツを増やしていきながら、海外展開に向けた準備も進めていきます。プラットフォーム事業として連携先企業も増えてきましたが、独自の商品開発や共同研究などのプロジェクトも増えてきたため、研究所の設立と組織づくりにも力を入れるため、資金調達を行い、企業力アップを図ります。